



ゆたかっこ

学校だより 11月号⑮
豊見城市立ゆたか小学校
豊見城市字豊見城 601 番地 1
TEL850-6639 FAX850-3940
校長 官平 やすみ

学校はみんなといっしょに学ぶところ！

朝の空気がひんやりしてきました。そろそろ温かいお布団からでるのがつらい季節！子ども達は毎朝早起きできるかな～？とちょっと心配していましたが、なぜかこれまでよりも早登校する子が増え、欠席する子が減っています。子ども達がたくましく成長していることが嬉しいです。

各学級では、先生方の授業公開が行われています。校内研究テーマ「言葉を広げ、みがき、対話で深め合う子どもの育成～国語科における語彙指導と読書活動の充実をとおして」に基づいて各学年で共同研究に取り組んでいます。学年で一緒に授業をつくり、実践し、お互いに授業を見合いながら、子ども達が「楽しい！わかりやすい！もっと知りたい！」と思うような授業づくりをめざしています。先生のその熱意に応えるように、子ども達も一生懸命に話を聞き、考え、交流し、自分の考えをしっかりと書いたり発表したりしています。日々の学びの積み重ねが大きな力になります。時々、今日の授業で何がわかるようになり、何ができるようになったのか、聞いてみてくださいね。家に帰っても子どもがちゃんと答えられるように、学校も日々、質の高い授業づくりに頑張ります！

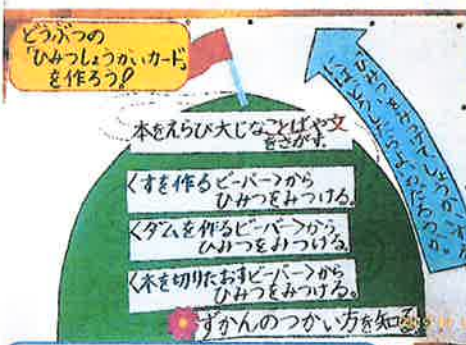
わくわく学習計画表
今日は何を学習するのか

大事なことばや文に赤い線をひいて
→ 友だちと交流 **1年生もできる！**



1年生「いろいろなふね」

平成31年度 校内研究テーマ
言葉を広げ、みがき、対話で深め合う子どもの育成
～国語科における語彙指導と読書活動の充実を通して～



2年生「ビーバーの大工事」

自分のみつけた文を付せん紙に書いて
→ 友だちと交流 **2年生もできる！**

すべての教員が授業を公開し、お互いで見合うことで、より質の高い授業づくりに取り組んでいます。他の先生方に見てもらおう子ども達も嬉しそうに話し合ったり、はりきって発表する姿があり、先生も子どももいっしょに成長しているような気がします。



3年生「重さの単位とはかり方」
実際にものの重さを比べる体験
→ 単位をそろえて比べることを知る

学びの部屋 子どもは、いろいろ考える。自由に考える。

面積 めあて 公式を使ってくふうして面積を求めよう。

| | | | |
|--------------|-------------|---------------------------|--|
| <p>梨の香</p> | <p>金城海志</p> | <p>いどうして 1cm考へました</p> | |
| <p>(みんな)</p> | <p>水島江純</p> | <p>文香</p> | <p>友だちの考え方から 広がる！深まる！ 2019.11.22</p> |

☆かけ算のばめんさがし☆
名前(宮田 空汰)

ことばのし
点字ブロック1だんは6かずの
5だんぶんて25

し
5x5=25
2019.11.27

☆かけ算のばめんさがし☆
名前(神尾 七)

ことばのし
ロッカー
たて3こが9つ分

し
3x9=27
2019.11.26

【4年生】正方形と長方形の面積の求め方を使って、複合図形の面積を求める問題。分けたり、移動したり、引いたり、足したり、かけたり、わったり・・・習った算数の力を使って、何通りもの求め方を見つけました！

【2年生】身の回りにおけるかけ算の場面をさがす問題。ロッカー、点字ブロック、でんき、じゃぐち・・・身近にある物の数をかけ算で求めることができることに気づきました。

子育ての部屋「耳くすい (耳薬)」

このコーナーでは、様々な教育書の中から子育てのヒントになりそうな情報を一部分で紹介いたします。私が勝手に選んだ情報ですので、参考にするかどうかは皆様のご判断にお任せします。ちょっとしたヒント「耳くすい」にはおもしろいと思います。

今でこそ、私にとって「本はいつでも自分の近くに、あたりまえのようにあるもの」ですが、思い起こせば、読書が好きになったきっかけは、父と母に読み聞かせをしてもらったことだと思います。

小さい頃読んでもらった本でとても印象に残っているのが「コンビニエンス・ドロンパ」(文・富安陽子 絵・つただのぶこ 童心社)という絵本です。

これは、おばけのコンビニエンスストアに夜中、いろんなおばけがやってくるお話なんです。「くさきもねむるうしみつどき……」なんて、「くさき?」「なにみつどき?」っていう意味もよくわからなかったけれど、父がわざと怖〜い声色を使って読んでくれて、ゾッとするんだけどそのリズムが心地よくて、キャーキャー言いながら「お願い!また読んで!」ってせがんでいたなあ、なんて思い出します。

絵も、店内のおばけ用の商品ひとつひとつまでが細かく書き込まれていて、じっくり見ても楽しかったし、その時はまだ字が読めなかったけれど、絵を眺めて読んでもらって、夢中になっていたのを覚えています。今思えば、絵本の読み聞かせって、父と母と私とのコミュニケーションになっていたんですね。。。。。

「まなの本棚」(芦田愛菜) 小学館 図書館にあります!